

県内地盤の清水建設

低価格リフォーム参入

独自ブランド立ち上げ

茨城県の地元建設会社の清水建設(那珂市、清水洋一社長)は住宅建設で培った技術を応用し、リフォーム事業に参入した。自社ブランドを立ち上げ、使う資材をメーカーから直接仕入れ、工事価格を低く抑えた。県内の新設住宅着工が減り、公共事業も抑制傾向が強まったのに対応する事業の多角化で、リフォーム事業で近い将来年2億円の売り上げを目指す。

県内外の工務店と連携視野

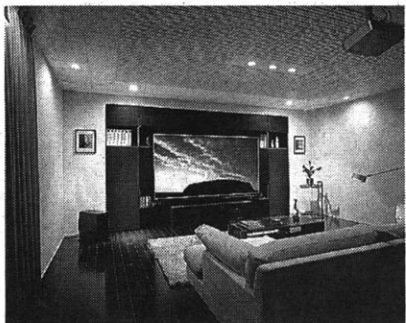
ブランド名は「我流生活 リフォーム 夢造くん」。広告やのぼり、工事を使うシートを同ブランドに統一した。ブランドは茨城県内外の地場工務店に無料で開放し「リフォーム仲間を募り、ブランド価値を上げる」(清水社長)方針だ。

間取りの変更やシステムキッチンの設置、造園など顧客の要望に柔軟に対応する。例えば、断熱工事では壁内に断熱材のポリスチレンを敷き詰める高気密で高断熱の工法を使う。住宅建設と資材を共通化し、価格を低く抑えられるという。

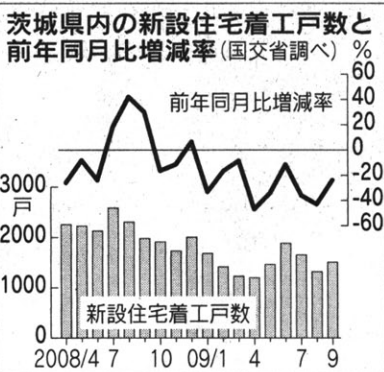
した場合、大手のブランドを使うと、ロイヤルテラーを支払う場合がある。清水建設は自社ブランドの立ち上げでこの支払いをなくすほか、資材をメーカーから直接仕入れ、顧客負担を抑える。部屋の規模にもよるが、囲炉裏の設置では30万円台から受注する。

茨城県内の新設住宅着工戸数は9月まで、9カ月間連続で前年割れの状況。需要が縮小する中、地場の建設会社と格安住宅を手がける大手ハウスメーカーの競争は激化している。

清水建設は住宅建設や公共事業を手がけ、09年8月期の売上高は約5億円。



高級感あふれる音響ルームへの改装なども手がける



リフォーム工事を受注